

# 雪印の野菜品種の紹介

雪印種苗㈱ 中央研究農場

作物研究室長

岩見田 慎 二

## はじめに

近年、食と健康のかかわりについての関心が高まってきています。すなわち、健康の維持、増進のため、より積極的に食をとらえていこうという考え方が強まってきているといえます。

これらは、従来、消費者が食料品を購入する際に価格や量を重視していたものが、近年は鮮度や栄養価などの品質を重視する傾向が強くなってきたとする各種の調査結果にも表れています。野菜における緑黄色野菜の消費の伸びもその一つといえるでしょう。

## 1 食生活に占める野菜の重要性

さて、野菜は国民一人当たりの供給量でみると、総カロリーの約3%（食糧需給表、1985年）を供給しているにすぎません。しかし、カルシウム、鉄の総摂取量の約18%、ビタミンA、Cではそれぞれ約60%、約50%が野菜から供給されており、ミネラルやビタミンの供給源として重要な地位を占めています。さらに、近年は食物繊維の供給源としての役割も重要視されてきています。

このように、野菜は日本人の食生活の中で重要な地位を保ってきていますが、さらに近年は、ガンや成人病予防の上で野菜が重要な役割を果たしているとする考え方が示されてきています。すなわち、野菜に豊富に含まれる食物繊維やミネラル、ビタミンが相乗的に働き合って、ガンや動脈硬化などの成人病の予防に役立っていると考えられているのです。

このような中で、より安全で栄養価などの品質の優れた野菜を生産、供給していくことは、国民

の健康維持、増進に寄与することはもちろん、これからの野菜生産の重要な役割であるといえます。

## 2 雪印の野菜品種の紹介

弊社では野菜の優良種子を供給するため、新しい野菜や品種の開発を行なっておりますが、先に述べた野菜生産の重要な役割の一端を担うべく、今後とも進めて行きたいと考えております。

以下、弊社が販売しております野菜の品種について簡単に紹介します。

### 1) ホウレンソウ

ホウレンソウはビタミンA、Cなどのビタミン類や鉄などのミネラルが多く含まれ、栄養価の高い野菜として周年需要の多い野菜です。また、ホウレンソウの栄養価に対する消費者の認識も高く、緑黄色野菜の代表的野菜となっています。

弊社では、北海道、東北、高冷地の夏どり専用種として「ジュリアス」、「アーガス」、「ジュノス」を発売しております。いずれも晩抽性で作りやすく、かつ、生育も早めで収量性が高く、葉色濃緑



ホウレンソウ「ジュリアス」

で品質も優れています。特に「ジュリアス」「アーガス」は北海道、東北、高冷地の雨よけ栽培に多く利用され好評をいただいております。

なお、北海道では冷凍や粉末加工用として、これら3品種とともに加工専用種「ニューキング」も利用されています。

また、秋～早春播きの冬ホウレンソウに適する「あやみどり」は低温伸長性が優れ、この時期に栽培される品種としては葉色が濃いため、ホウレンソウの『旬』である冬場に能力を発揮します。

## 2) サヤインゲン

サヤインゲンはあえもの、天ぷら、煮物などに広く利用されています。

従来は関東市場を中心に需要の多い『どじょういんげん』と呼ばれる莢にくびれのある平莢タイプがほとんどでしたが、食生活の洋風化に伴い、肉料理のつけあわせやサラダにも適するすじなし丸莢タイプが増えてきており、特に関西市場で好まれています。

弊社がスノークロップシリーズとして販売しております「ネリナ」、「さやかざり」は関西市場向けの矮性すじなし丸莢種で、いずれもスリムで曲がりのない濃緑な莢が特徴的な品種で、市場において高い評価を得ております。

また、「ネリナ」よりやや早生で早期多収な品種として「リンダ」を発売しております。

なお、今春から、さらに早生多収で作りやすく、莢のもぎやすさを改良した「まゆみ」を新発売いたします。



サヤインゲン「ネリナ」



エダマメ「サヤムスメ」

## 3) エダマメ

大豆は『畑の肉』と言われますが、エダマメがその未熟な種実を食べる野菜であることから分かるように、野菜の中ではたんぱく含量がかなり多く含まれています。かつ、ビタミンA、B<sub>1</sub>、Cやカルシウムなども多く含まれており、栄養価の高い野菜であるといえます。さらに、食物繊維の含有量も野菜としては高い方であり、ビタミン、ミネラルが多いことも併わせ、健康を維持する上で積極的に利用したい野菜といえます。

弊社では、以前からエダマメの品種改良を進めており、「サッポロミドリ」、「キタノスズ」、「美園グリーン」、「ユキムスメ」を発売し、各地でご利用いただいております。

特に、極早生種の「サッポロミドリ」、中早生種の「ユキムスメ」は、いずれも白毛の大莢種で、莢の色が濃く、食味も優れており、ご好評いただいております。

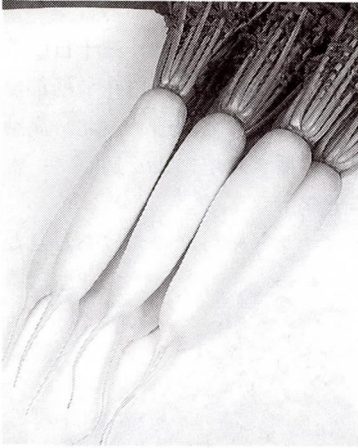
また、今春より「ユキムスメ」と同熟期の中早生種で、より濃緑、大莢な品種として「サヤムスメ」を新発売いたします。

## 4) ダイコン

ダイコンはやや減少傾向にあるとはいえ、作付面積 63,200 ha、収穫量 245 万 7 千 t (昭和 63 年) と野菜中第 1 位であり、生食はじめ漬物加工などでの利用も多く、名実ともに主要野菜です。

ダイコンは水分が約 95% と、生食の場合は栄養的には高くありませんが、でんぷん分解酵素のア





ダイコン「涼太」

ミラーゼが含まれ消化吸収を助けることはよく知られています。また、切干だいこんでは食物繊維、ビタミンCの効果が期待できます。

弊社では、品質を重視した青首ダイコンの開発を進めておりましたが、本年より春ダイコン「幸太」、夏秋ダイコン「涼太」を新発売いたします。

「幸太」は一般地、暖地のトンネル・ハウス春どり、冷涼地、高冷地の春播き用に適した極晩抽性の春ダイコンで、青首、肌など品質も優れています。「涼太」は一般地の晩夏播き、北海道、東北、高冷地の初夏～夏播き用に適した夏秋ダイコンで、根形、根長の揃いが優れ、青首や肌などの品質も良好です。また、空洞症、赤芯症などの生理障害の発生が少なく高品質が期待できます。

#### 5) ニンジン

ニンジンは各種料理に利用され、年間通して需要の多い野菜の一つです。特にビタミンA効力を



ニンジン「カージナル・フレッシュ」

もつβ-カロチンなどの黄・橙色素が多く、トウガラシ果実(乾燥)、パセリに次いで多く含まれています。トウガラシやパセリが一度に多く食べられないのに比べ、ニンジン調理の幅も広くカロチンの摂取効率のよい野菜といえます。

「明紅五寸」は冷涼地の春播き栽培に適した、播種後110～120日で収穫できる中生種です。根形の揃いが良く、青首や裂根が少ないため秀品率が高い品種です。

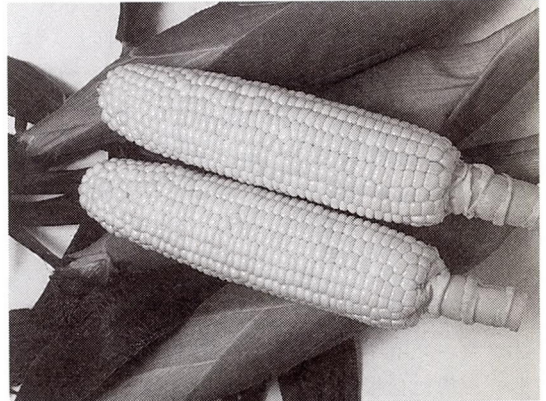
この他に、長さ10～12cmのソーセージタイプの「カージナル・フレッシュ」、直径2.5～3cmの球型の「カージナル・バルーン」を発売しております。これらは従来の五寸ニンジンと異なる新しいタイプで、消費の伸びが期待できます。特に、ソーセージタイプの「カージナル・フレッシュ」は鮮やかな濃橙色で肉質が軟らかく、ニンジン特有の臭みがないため、生食、サラダに好適です。

#### 6) スイートコーン

近年、食味が改良されたバイカラー種が青果用のほとんどを占めるに至っています。この傾向は当分続くものと思われませんが、さらに甘味の強いタイプやまろやかな甘味をもつタイプなど新しいタイプの開発が進められています。

弊社では、バイカラー種の「ララミー83」、「ララミー85」、黄色種の「アイダホスイート80」、普通種で白色種の「スノークイン」を発売しております。

「ララミー83」はバイカラーの早生種で、初期生育が良く、ハウスやトンネル早出しなどに適しています。早中生種の「ララミー85」は、穂重が重



スイートコーン「ララミー85」

く、径も太いのでポリウム感があり、L級以上の規格品率の高い多収種で、食味も極めて良好で、各地でご利用いただいております

黄色種の「アイダホスイート80」は極早生で実入りが良く、粒列の並びが抜群で剥皮後の品質が優れており、軸付き冷凍用として最適です。

「スノークイン」は普通種ですが、その中ではやや甘味が強く、その美しい白色粒とさっぱりとした甘味とで新しい需要が期待されます。

#### 7)メロン

メロンは消費の高品質、高級化を背景に需要の伸びている野菜の一つです。これに合わせて作付けも増えてきていますが、これには温室メロンに代わって、安定した栽培と供給を可能にしたハウス（露地）メロンの改良が大きな役割を果たしています。

弊社が今春より新発売します青肉メロン「デリカ」は極めて作りやすいハウスメロンです。生育、着果が良好で、玉伸びが良く、ネットの発現が優



メロン「デリカ」

れ、つる割れ病やうどんこ病にも強く作りやすい青肉メロンです。また、マルチング質で糖度も高く安定しており、品質も優れています。

既に発売しております赤肉メロン「トパーズ」も低温伸長性が優れ、作りやすく、肉質、香り、甘味ともに優れた赤肉メロンとして好評をいただいております。

#### 8)サヤエンドウ

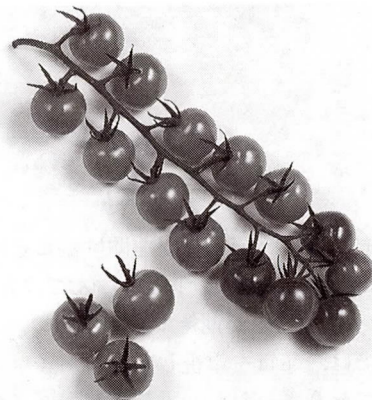
サヤエンドウは年間を通した需要があり、特に絹サヤ種には根強い人気があります。栄養的にみても、ゆでた後でもビタミンCの含有量が比較的

高く、今後とも需要の見込める野菜の一つです。

弊社育成の「電光絹莢」、「三十日絹莢」、「福姫三十日絹莢」は、いずれも白花で低節位から着莢する極早生種です。北海道、東北、高冷地の春播き、初夏～夏播き栽培によく適しています。

#### 9)ミニトマト

トマトはサラダや料理のつけあわせなどとして



ミニトマト「おちよぼ」

の手軽さから人気が集まっていますが、栄養的にみても、ビタミン類の多く含まれる緑黄色野菜として重要な野菜です。

弊社のミニトマト「おちよぼ」は生育旺盛な早生種で、一花房に20～30花が着き、着果が良好で作りやすい品種です。果実は15g前後の豊円球型で、糖度が高く適度な酸味もあって食味が優れています。

#### 10)アスパラガス

グリーンアスパラガスは近年需要の増えている野菜の一つです。栄養的には緑黄色野菜特有のビタミン類などの栄養素を豊富に含み、食物繊維と併わせ効果の期待できる野菜です。また、血圧を下げるルチンを多く含み、高血圧予防に効果があるといわれています。

弊社の「キャンドル」はF<sub>1</sub>品種で、従来のメリーワシントン500wに比べて生育旺盛で、定植後早くから収穫できる多収品種です。若茎は頭部のしまりが良く、鮮やかな緑色で、揃い性も良好で品質も優れています。

以上、弊社の野菜の品種について簡単に紹介しましたが、特性をよく理解していただき、ご利用いただければ幸いです。